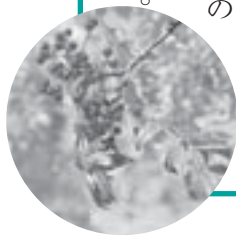


概要

石狩平野の中央に位置する江別市は、最も高い所でも標高九十三メートルと、起伏が少なくなだらかな地形が特徴です。総面積は一八七・五七平方キロメートル、人口十二万四千八百八十五人（平成十六年一月一日現在）の街です。

市の花は、永久の「平和」と「繁栄」を象徴するキク。花ことば「誠実」「信用」をもって市民憲章の定める指標が達成されることを誓い、制定されました。

また、市民憲章にうたわれる健康で楽しい家庭を築き、風雪に耐えたくましく前進する江別市民であることを願い、「安全」「慎重」「忍耐」を象徴するナナカマドが、市の木に制定されています。



江別市と北広島市は、厚別区のお隣さん。平成六年から、区民まつりやファミリィ森林浴ウオーキングなどさまざまな行事を通して三市の交流が行われています。お互いをよく知ることは、交流をより深めることにつながります。今月は、見どころなどを交えながら江別市と北広島市の横顔を紹介します。

れんがとやきものまち



江別の風景を温かく彩られるが。市内を歩くと、古い家や蔵、近代的な公共施設や電話ボックス、バス待合所など、れんがを使った建物をたくさん見掛けます。

江別でれんがの製造が始まったのは明治二十四年。野幌市街地周辺に、およそ二メートル厚さで堆積しているといわれる元野幌粘土層が、野幌れんがの原料になりました。このように原料に恵まれ、大需要地札幌を控えているなどの好条件もあって、次々とれんが工場が設立されました。現在でも、三つのれんが工場が操

業を続けていて、江別市は道内では唯一、全国でも一、二を競う屈指のれんが生産地として知られています。

西野幌にある江別市セラミックアートセンターは、「れんがとやきもの」をテーマに見ること・つくることを通して江別に焼き物文化をはぐくもうとつくられました。館内では、北のやきもの展示室やれんが資料展示室などでの常設展や企画展のほか、レンタル工房や陶芸教室、陶芸体験も行われています。



上) ガラス工芸館 (旧石田邸)
中) 北のやきもの展示室 (セラミックアートセンター)
下) れんが資料展示室 (セラミックアートセンター)

日曜陶芸体験・絵付け教室に 皆さんも参加してみませんか

- ①陶芸体験 初心者を対象に粘土500gを使い、手びねりまたは板づくりで制作します。作品は、センターで乾燥・釉掛け・焼成し、後日お渡しします。
- ②絵付け体験 素焼きの作品に絵付けします。
 - ◇日時 2月15日～3月28日の日曜午前10時～正午
 - ◇対象 小学生以上（小学校低学年は保護者同伴）。毎回①②合計で30人
 - ◇受講料 ①は500円、②は800円（材料費含む）

◇申込方法 参加希望日の1週間前から、電話または直接センターへ（先着順）



江別市セラミックアートセンター

江別市西野幌114番地5
TEL (385) 1004

- 開館時間 午前9時～午後9時（常設展示は午前9時30分～午後5時、入場は午後4時30分まで。また午後6時以降の教室利用は要予約）
- 休館日 月曜日、祝日の翌日（その日が土・日の場合は、火曜日）、12月29日～1月3日
- 常設展示観覧料金 高校生以上300円、小・中学生150円
- 公共交通機関 ジェイアールバス（野幌運動公園線）新札幌駅～セラミックアートセンター前下車

